

節分・豆まき



2月は豆まきの季節です。

今年はゆりの里（宅老所）に3人の鬼たちがやって来ました。鬼の子分たちを豆まきで退治です。裸の親分鬼が登場して大暴れしましたが、ご利用者様の豆まきと獅子舞の協力でゆりの里の危機は救われました。今年もゆりの里に福が訪れますように…。

暖かい日は、施設の近くで日光浴や散歩をしています。日向ぼっこで身体に元気を充電中。



市民の森梅園見物

今年も市民の森梅園へグループホームのご利用者様と出かけました。少し早かったのですが、一足先に春を満喫しました。今後も様々な行事やイベントを企画しています。



ご長寿おめでとうございます



ゆりの里だより

第 94号

平成29年3月

宅老所

グループホーム

高齢者専用住宅

訪問介護

佐土原町下田島19658-1

TEL0985-72-0680

URL<http://care-net.biz/45/yurinosato/>

（宮崎市ゆりの里で検索可）

優しい時間（とき）の流れる、
絆強い極楽の園
人情・心通わす第二の家 ゆりの里

認知症の具体的な症状

● 同じことを何度も聞く

短期記憶障害により何度も同じことを繰り返す症状です。認知症の人の特徴として昔のことは比較的よく覚えているものの、最近の事や直前の事は記憶したり思い出したりするのが困難です。

対応：「何度言わせるの?」、「これで5回目ですよ?」といった返事はなるべく避けるようにします。なぜなら認知症の人にとっては初めてのつもりで話したことを否定されれば、怒ったり気持ちは落ち込みます。介護者は同じ質問であってもはじめてのつもりで答えたり聞いたりしてあげるのが好ましい対応です。時には話題を変えたりその場から離れることも一つの対応策です。

● 「家に帰る」と訴える

家にいながらも家に帰ると訴えるのは今いる場所を認識できないと同時に精神状態が過去の自分に戻っていることが原因かもしれません。80歳の認知症の人が30年前から現在までの記憶が認知症の為に失われたりしていると50歳頃に生きているような状態になります。今自分が生きている世界と現実の世界が一致しなくなることです。そのため過去にあった家に帰ろうとすることが原因かもしれません。

対応：説得は効果がありません。家の中の居心地を良くしたり気を紛らわせるような仕事を頼んだりするのも方法です。

● 出来なくなるという障害

失行(しっこう)…手足の麻痺がないにもかかわらず一連の動作・行動が難しくなる障害。例えばテレビのスイッチの入れ方が分からない。自分で歯磨きすることができない等。

失認(しつにん)…視力に障害がなくはっきりと見ることはできるものの、対象が何であるか認識することができない。例えば、花や鉛筆などを食べ物と違って口に入れる。配偶者を認識することができないのもこの障害です。

失語(しつご)…意味のある言葉を発しにくく、聞いた言葉を理解しにくい。なお、脳血管障害で起こる発語障害は失語には含みません。

● 排泄の失敗

認知症が進行すると排泄行為が難しくなります。トイレまでの間に間に合わず下着を汚したり、トイレの床や便座を汚すことが頻繁になります。判断能力の低下により部屋のゴミ箱に排泄したり、汚した下着をタンスにしまったりする行動もみられます。認知症がさらに進行し重度化すると失禁を気にすることがなくなります。

対応：尿意をもよおしたときに速やかにトイレに行けるようトイレ付近の部屋を使うようにすることが一般的です。またトイレの位置が把握できるよう「便所」の看板を掲げたり、夜間のトイレの通路は暗くしないよう工夫します。その他、時間を決めてトイレに誘導したり、場合によりオムツを使用するのも一つの方法です。



● ありえないことを信じる・幻が見える

認知機能の低下により周囲の情報を適切に判断できなくなる為、周囲の情報を適切に処理して判断することが難しくなります。高齢者では肺炎や脱水などで体の疾患に伴い意識障害をきたしやすくなります。また薬の副作用により幻覚なども起こりやすくなります。

錯覚…姿や音を間違って認識する

被害妄想…通帳やお金が盗まれたと思ひ込む

嫉妬妄想…夫が隣の女性と浮気をしていると思ひ込む

幻覚…虫や人など、見得ないものが見える

幻聴…人がささやく声がする

意識障害(せん妄)…入院中、ベッドの下に誰かいると騒ぐ

● 「食べていない」と訴える

記憶障害の為食べたこと自体を忘れてしまいます。

対応：「あと30分待って下さい。食事の用意をします。」等と伝えたり、いったんおにぎりなどを用意するのも方法です。訴えが頻繁な場合はカロリーが少なく口の中に残りやすいもの(昆布など)を食べてもらったり、話題を変えるのも方法です。

● 意欲や気力が低下する

認知症の人にはうつ状態がみられることがあります。

対応：一般的なうつ状態と基本的には同じです。

● 眠れない

認知症の人は夜になると幻覚や妄想が現れたり、時間感覚や場所が分からないためますます不安になり眠れなくなります。

対応：一般的に昼間はデイサービスなどで体を動かしたり、可能であれば夜間の入浴も効果的です。薬の導入を検討します。

無料体験実施中

認知症対応型グループホーム・宅老所での体験を1泊2日にてご利用いただけます。

お気軽にお問い合わせ下さい。

制作 木嶋